



九 五 函	架 冊	類 十 類
-------------	--------	-------------

事件第一號

露國汽船
ニコライ號捕獲事件

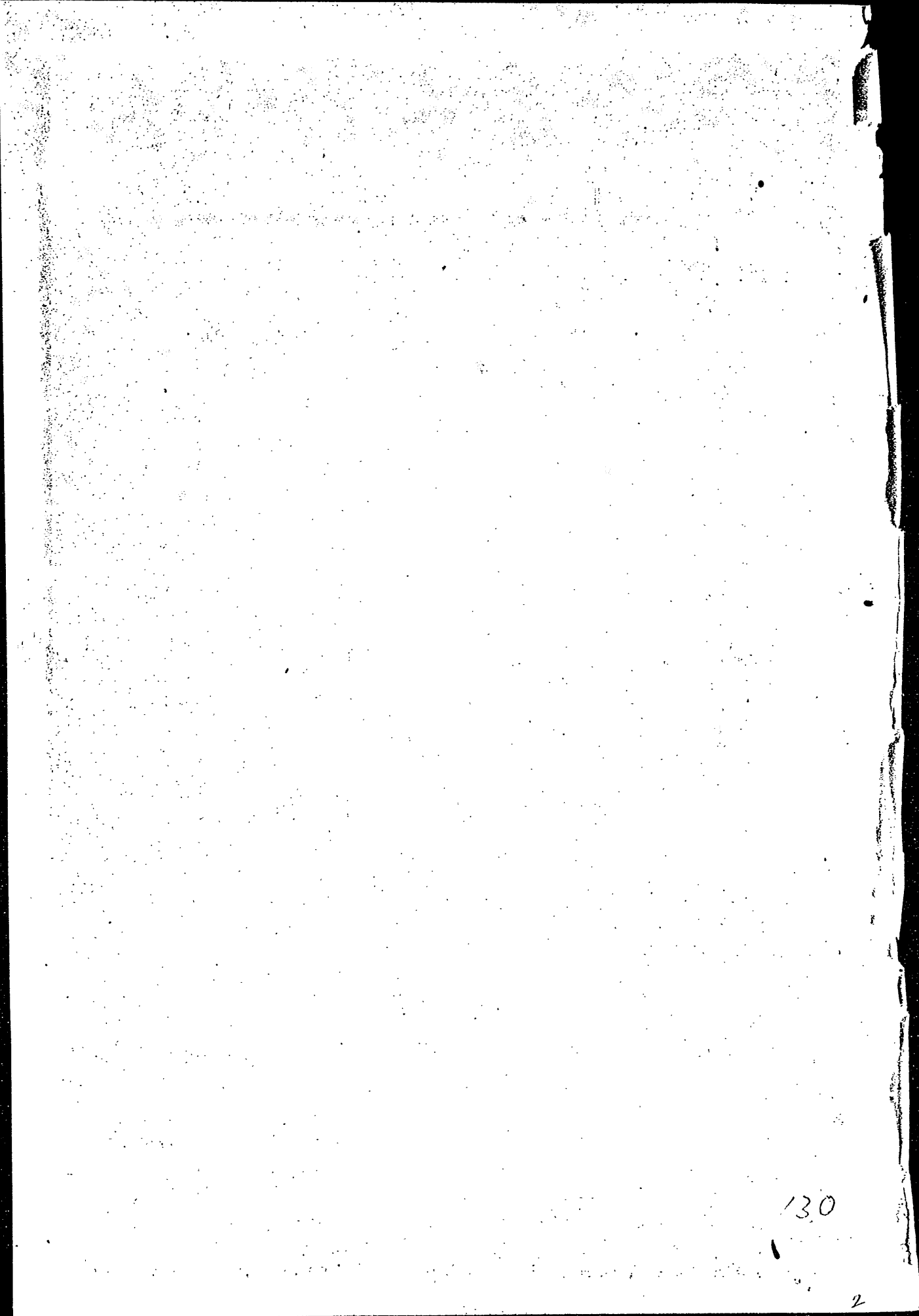
佐世保捕獲審檢所

国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	39 - 2
	(捕) 130

ニ コ ラ イ 號 捕 獲 事 件 便 覽

艦 拿 捕 シ タル 船 名	ル タ レ ラ セ 捕 拿		搭 載 貨 物	噸 數	及 種 類	船 種 ノ 國 籍	任 擔			事 件 番 號	受 付 日 ノ
	理 由	場 所					年 月 日	書 記	檢 察 官		
軍 艦 宮 古	敵 船	韓 國 釜 山 沖	韓 錢 六 千 五 百 文	總噸數 一三三噸 淨噸數 四九噸	露 國 汽 船		吉 田 三 郎	太 田 三 次 郎 水 上 長 次 郎 山 本 辰 六 郎	第 一 號	明 治 三 十 七 年 二 月 十 四 日	

終 局 年 月 日	願		訴		檢 定		公 告 ノ 年 月 日
	議	抗	檢 定	當 審	要 旨	宣 告 年 月 日	
	結 果	檢 定 件 數	檢 定 所	審 密 數			
明 治 三 十 八 年 三 月 十 日	一 件	棄 却 一 件 却 下 一 件 破 毀 一 件 一 部 破 毀 一 件 取 下 一 件	一 件	沒 收 一 件 解 放 一 件 一 部 沒 收 一 部 解 放 一 件 訴 願 却 下 一 件 取 下 一 件	一 件		明 治 三 十 七 年 三 月 一 日



130

2

裏面白紙

三十七年	二月十四日	官古艦長供述書	一
二月十四日	船舶書類之関元証明書	二	
二月十四日	通貸及有價物之関元証明書	三	
二月十四日	書類目錄	五	
二月十五日	船長及船員申供聴取書	六	
二月廿二日	船籍証明書記文	九	
二月廿二日	船員名簿訳文	一	
二月廿二日	書類送致書	二	
二月廿三日	檢察官意見書	三	
三月一日	公告書	五	
三月三日	船員解放通知書	六	
四月八日	記録閲覧願	七	

目録氏

目録

年 度	書 面 ノ 月 日	文 書 ノ 票 目	丁 數	備 考
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			
	月 日			

供述書

明治三十七年二月拾日朝鮮南東岸ニ沿テ北上ス午後四時
十五分前方ニ煤烟ヲ認ム漸ク近ツクニ徒ヒ之ニ向ヒ先リ旗章
ヲ掲ケシテ次テ停止シテ命シタルニ直ニ服従セリ其ノ露國太平洋
捕鯨會社汽船「コライ」号ナルヲ確シタルヲ以テ直ニ海軍大尉
福田一郎ノシテ海軍少尉松浦松見ニ下士幸次郎
ヲ率ヒテ之ヲ捕獲セヨ吾軍艦旗ヲ掲揚ス時ニ午後一時
北緯廿五度七分東經百二十九度十五分ノ地ニ在リテ該船
ハ韓國長箭洞ヲ發シ捕鯨ノ目的ヲ以テ巡航中ナリト云ハリ
仍テ松浦少尉ニ兵負古名ヲ附シテ監督セシメ竹敷ヲ經テ
佐世保ニ回航セシム

右ノ通相違無之候也

海軍

明治三十七年二月拾日

官古艦長海軍中佐 枡内 曾次郎 柝

別封船内ニ於テ受領シタル書類添付候也

拿捕ノ際受領シタル船舶書類ニ関スル

証明書

船名「コライ」

船長名「バイヂング」

帝國軍艦宮古衆組海軍大尉福田一郎左ノ三項ヲ

証明ス

一、余ハ明治三十七年二月拾日帝國軍艦宮古カ前頭ノ船

船「コライ」ヲ拿捕セル際現場ニ在リタリ

二、茲ニ添付スル葉巻号ノ至葉巻五号書類ハ該船舶拿

捕ノ際船内現存ノ書類ニシテ受領シタルモノナリ

三、該船舶書類ハ番号記入ノ外ハ受領當時ノ儘ニ

シテ毫モ変更モシラズコトナシ

明治三十七年二月十日

海軍

宮古艦長海軍中佐柄内曾次郎

拿捕の際在船ノ通貨及有價物ノ関シ
艦長ヲ製スキモノニテ寫一通ヲ必ス艦長ニ渡
スベキ証明書

船名「ニコライ」 艦長右「バイゲンゲ」

帝國軍艦官古來組海軍大尉福田一郎 茲ニ左記ノ
事項ハ明治三十七年二月拾日余ノ拿捕セル船舶内ニ存
在セル一切ノ通貨及有價物ノ正確ナル計算書ナルコト
ヲ証明ス

物件通貨ノ憑區セントスルカ如キ形跡メニナカリシ

一 通貨

韓料 六千五百

一 有價物

船舶附屬品、他有價物ナシ

明治三十七年二月拾日

海軍

第三丁

官古艦長 海軍中佐 枋内曾次郎

余ハ明治三十七年二月十日余ノ署名在キ此ノ証明書ノ寫一通

ヲ艦長ニ渡シ

明治三十七年二月拾日

官古艦長 海軍中佐 枋内曾次郎

右官古艦長枋内曾次郎ヨリ引継ギテ受ク
呈出候也

明治三十七年二月十日

捕獲艦艇長代理士官

海軍大尉 木原静輔

捕獲審檢所

軍

書類目録

ニコライ 號 捕獲事件ニ付軍艦官古艦海軍中
佐柄内曾次郎 提出シタル書類

第一号

船籍證明書

志通

第二号

乗組船員名簿

志通

第三号

噸教證明書

志通

第四号

航海誌

志通

第五号

鯨鯊簿

志通

船用状袋

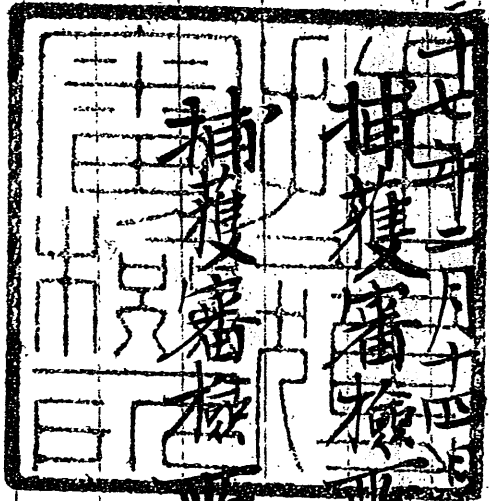
志

合計六号

右書類ノ拿捕指揮官代理海軍大尉木原静
輔及ニコライ 船長「グスタフ・バイチレク」立會ノ

上之ヲ点檢シ此目録ヲ調製ス

明治三十四年



捕獲審檢所 評定官 吉田三郎

補獲審檢所 書記 吉田三郎

申供聴取書

明治廿七年二月十五日捕獲審檢所於評定官
太田三次郎之面前於拿捕セル老シヨライ一掃
船長松島貞力通作村田甲子郎ヲ付テ為メ
供述いたル

船長ノ申供

一 氏名 クスタフ・バイデック

一 年齢 三十五年

一 職業 シヨライ一掃船長

一 生国 露国ハリゲン市

一 現住所 長崎市浪平三丁目地

一 船名 シヨライ号

第六

一 船性質 捕鯨船

一 所属 露国南極所徳「ケイセルリシ」主

管下ニアル「アシナヲ子ハノエ」ヲブシテエスウオ

所有ニシテ同所定較系

一 噸数 四十九噸カ五十噸ナリ

一 製造所 ヲ兼和セス

一 旗章 露国々旗

一 任務 今ヨリハケ月ヨリお、船セ、トナリ

一 乗組員 二十名ニシテ船ノ財手ナリ内支那人

一人諸國一人朝鮮人支他ノ露国人ナリ

一 乗客 無し

一 拿捕 本年露曆二月廿日即

明治二十七年二月十日釜山ヨリ西半島南十

第五

捕獲丁檢所

五選ノ処、於ノ日本軍艦、宮古ヨリ停止シテ
命セシメ、次ニ捕獲セシメ、夫ヨリ竹敷ノ港ニ往
世保、回航セヨクナリ

一 航行ノ目的、本船トシテ、朝鮮近海ニ於テ、
捕鯨ノ業トス、今回、航海ニ付、セルリシク
今社ノ命、依リ、韓国長嶺洞ヨリ上海ニ航
行、途中ナリ

一 會社トシテ、私キトシテ關係、移キ、米俵ノ會社
ニ在リ

一 種者、亦一切ナシ、尤モ韓国運賃、六千五百
文、及ビ私ノ所屬、亦先ニ捕鯨用、船及繩
存在ナリ、韓船、業担、負、丙、韓、五、人、持
支拂、ノ、キ、給、料、ナリ

一 右運賃、所有者、主ニ本會社、モナリ

一 船ノ状態、悪状ナリ

一 業担、負、甲、多ク、業、初、リ、ク、ス、モ、多ク、只、手
續、ナ、カ、ク、ナリ

一 日露戦争、ノ、ル、コ、ト、少、シ、モ、業、知、セ、ス

一 右、外、申、供、方、キ、コ、ト、ナリ

一 船名、申、供

一 氏名、ニルス、ニルス、ム

一 年齢、三十三歳

一 職業、射手

一 生國、ハルウエー

一 現住所、ハルウエー、テンスバルク

一 在破、今ヨリ、三年、以、前、ノ、後、事、ナリ

第八

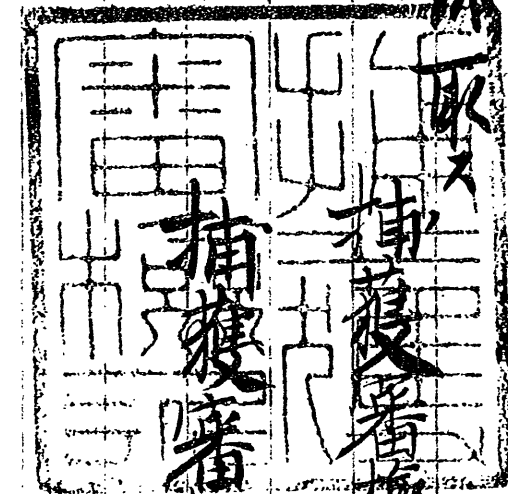
捕 審 檢 所

右 錄 取

一ニルルハ射手ニシテ其以外ノ事ハ一切兼知ス

捕獲署檢所評定官 吉田三郎

捕獲署檢所書記 吉田三郎



ニコライ 第一号 船籍証明書

一 船名
一 船籍

ニコライ
露國
海軍少尉
海軍少尉
海軍少尉

一 船性質
一定繫地

捕鯨船
露國浦塩斯德
露國高船旗

一 建造進水年月
一 建造所

千八百九十五年
露國アケルスキ造船所
大正洋清國日本及其外各海

第九丁

一 登簿噸數

四九 噸
三六

一 長サ

九四 尺
九五

一 幅

一七 尺
一九

一 吃水

一五 尺
一五

一本免状ハ常ニ前記ノ船内ニ保管セラルシ又賣買
スル場合ニ於テ買入カ露國臣民ナル時ハ同様スル
露國臣民間ニ賣買行ハル時又ハ著キ修繕ノ場
合ハ船主露國旗ノ免状下付ニ關シ敕令ニ基キ定
期間内ニ浦塩斯德港務局ニ申出ツル
一 船舶廢朽ニテ使用ニ適サズル時又ハ外國臣民ニ賣渡
スル場合ハ本免状ハ稅關或ハ定繫地ノ港務長官
返戻スル
一 各縣知事、各海軍長官並ニ親交人諸國各

官吏、前記船舶及船長、對り萬國公法、基キ萬
事、助方ニ其スルコト及前記ノ各所、海入海及河川
等、於テ自由航海、故障ニカレ、キーン、希ノ
一前記ノ事、頂ニ帝國皇帝陛下ノ各軍務長官
及行政長官ニモ、亦之ン命ス
本免狀、千八百九十五年八月、自署捺印シ、交付ス
モノナリ

浦塩斯德港務長

海軍少將

自署

浦塩斯德港務副長

海軍大佐

自署

第一〇丁

右原文ニ依リ翻訳ス

明治三十七年二月二十日

捕獲審檢所

通訳

村田甲子郎



捕 審 所

ニコライ 氏

第ニ号

乗組員名簿

姓 名

職 業

國 籍

グスタフ、バイデング

一等機械方

全

エフイム、ワローニシ

二等機械方

全

クリーシウ、スタグリース

水夫長

全

ニハイル、セーニス

水夫

諾威

ニールス、ニールスセン

水夫

韓 國

ウスニー

全

スンツジファーク

全

フツジユーニ

全

イクワレネーニ

火夫

全

ユングニー

火夫

全

ウオンセビー

ボイイ

全

ホンジウーニ

料理人

清 國

アセン

右原文ニ依リ抄訳ス

捕獲審檢所

通訳 村田甲子郎

通訳 村田甲子郎

村田

捕獲所檢審

第一二號

ニコライニ捕獲事件調査了、各依別冊
書類を送致也

明治二十七年一月一日

捕獲所檢所担任評定官 谷三三

捕獲所檢所檢察官 水上長次郎殿

帝國軍艦官古ノ為ノ朝鮮海、於テ拿捕セシメ
露國汽船ニコライ、拜捕獲事件ニ對スル意
見書

本件ニコライ拜捕獲事件ニ付官古艦長海軍中佐
枋内曾次郎ノ提出シタル供述書及ヒ付屬書類竝
ニ本件担任評定官ノ蒐集シタル證憑書類ニ依リ
其事實實ヲ檢按スルニ該汽船ニコライ拜、其船籍露
國ニ屬シ露國海軍少尉伯爵ケレリア、グゴロウイナウケイ
セルリンクノ所有ニシテ定繫地ノ露國浦塩斯德ニ有シ露
國商船旗ヲ揚ゲ大洋ニ於テ捕鯨ヲ為ス船舶ナリ千八百九
十五年諾威國アケルスキ造船舶、於テ進水シ登簿噸數
四九三六馬力四五ノ有ス船長ハ船長以下露國人四人諾

威人一人朝鮮人七人清國人一人計指參入ニシテ拿捕當
時、朝鮮海ニ於テ捕鯨ノ目的ニテ航海シタリシモノニシテ
搭載ノ有價物ハ船舶附屬品ノ外韓錢六千五百文ノ
有スルニ

明治三十七年二月十日午後一時北緯三十五度七分東經百
二十五度十五分ノ海上、於テ帝國軍艦官古ニ拿捕セラ
レ捕獲審檢ニ付セラレ、為ノ同日竹敷ヲ經テ佐世保軍
港、引致回航ヒシメラルモノナリ
以上ノ事實實、明治廿七年九月七日帝國大本營ニ於テ
制定ヒシタル日本帝國捕獲規程及ヒ戰時國際法、
照セハ帝國軍艦官古艦長、処分ハ日露交戰權活動
上適法ノ行為ニシテ毫モ間然スル処ナク汽船ニコライ拜
ハ敵船ニシテ其搭載シタル韓錢ハ敵貨ナルコト明白ナル船

第一三十一

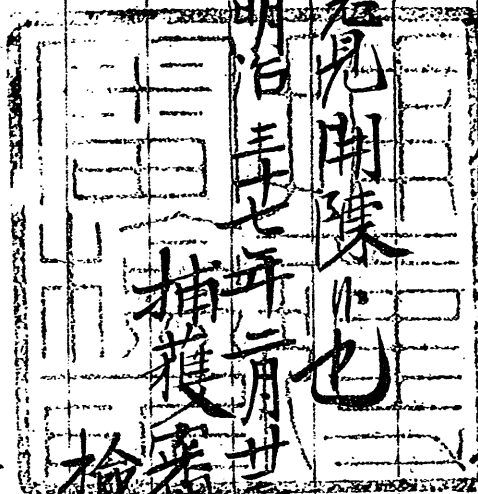
手帳

第一四

船及ニ附属品ト共ニ悉皆捕獲ト檢定セシムルニ付テ思料

右 嘉見開珠也

明治三十七年二月廿三日



捕獲審檢所

檢察官

山本辰太郎



檢察官

木上長次郎

捕獲審檢所長官松室致殿

捕獲審檢所

第五

公告

一 汽船 三ノライ 号

船籍 露西亞國
船長 クヌタノバインダク

一通貨 韓錢六千五百文

太平洋捕鯨及漁業自衛隊
各資會社所有

右ハ明治三十七年二月十日午後一時北緯三十五度七分
東經百十九度十五分海上ニ於テ帝國軍艦宮古ノ
為ノ拿捕セラレタルニ付テハ捕獲ト檢定セラレ、依リ利
益ヲ害セラルトスル關係人ハ公告ノ翌日ヨリ三十日內ニ
書面ヲ以テ當廳ニ訴願スルコトヲ得
右公告ス

明治三十七年三月一日

捕獲審檢所

公告満了三月廿日



捕獲第八九号

長官



露國捕鯨船にコライノ捕獲事件付
決私乗組員中長グスタフ・バイレンク
射手ニルス・ニルスマノ西名死因上必要
良ト係之ヲ抑るニ他ノ乗員ノ解放差
支去之ト申出及申通也

昭和二十七年三月三日

佐世保捕獲審檢所長官松室致

佐世保鎮守府司令長官鮫島英起

捕獲 審檢 所

第八九号

記保國賢札

二三ノ一ノ号捕獲ノ件記保

右國賢既許可也下及身親也

伯身付六ヶヶセリニリ官賢存杖

代理ノ人 龍漢士

明治三十七年四月十日

世保捕獲案の標紙
七ヶヶの松字之致紙

第九

弘毅堂藏

増島六一郎用紙

二四八
三